

平成27年度草の根・人間の安全保障無償資金協力
(発達障害児童支援施設機材整備計画)
引渡式

プレス・リリース

日本政府、発達障害を抱える青少年に対する機材供与を実施

2018年10月4日(木)、カラカス、エル・マルケス地区に所在するベネズエラ児童全人教育教会(INVEDIN)に於いて、岡田憲治 在ベネズエラ・ボリバル共和国日本国大使と、ガブリエラ・デ・ソラ INVEDIN 会長等が出席し、同協会の発達障害児童支援施設機材整備計画の引渡式が行われました。日本政府は、草の根・人間の安全保障無償資金協力の枠組みにおいて、同協会が行っている発達障害児童への支援に係る施設に対して、社会適応能力診断キット、知能診断キット、言語能力診断キット及び映像製作機材の購入のための資金として、約3万ドルの供与を2016年2月に実施しました。

INVEDIN は、1974年に専門家やボランティアに構成され設立された非営利団体であり、発達障害のある子どもや青年に対し神経科学、心理学、言語療法、理学療法及び家族療法などによる評価や治療を行い、彼らの自立を支援し生活の質を改善することを使命としており、又同分野の専門家の訓練も行っています。

INVEDIN は、2016年から2017年の間、1,600以上の子供と青年の治療が行われ、同分野に従事する約700人の専門家の訓練を行いました。日本政府からの無償資金協力は、これらの未成年者の評価と治療の為に診断機材の装備に貢献し、又オーディオビジュアル作成のための視聴覚機材の供与は、この分野の専門科の訓練を容易にします。

日本政府が実施している草の根・人間の安全保障無償資金協力は、医療、基礎教育及び貧困緩和、その他の分野における開発プロジェクトを支援する目的で、地方公共団体、非政府組織(NGO)、教育機関及び医療機関等に対する無償資金協力であります。日本政府は、1999年よりこの協力をベネズエラで続けてきており、今日までにベネズエラの56の団体及び組織等がこの協力を受け、その総額は約4百万ドルに達しています。

